

令和4年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：シロイチモジヨトウ（ネギ）（No.2）

令和4年9月5日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

- (1) 8月30日現在、県西部現地ネギほ場において、シロイチモジヨトウの発生時期はやや早く、発生量はやや多い。また、老齢幼虫が確認されるほ場数も多く、今後被害の増加が予想される（表1）。

表1 県西部ネギほ場におけるシロイチモジヨトウの発生状況（8月30日）

	調査 ほ場数	発生 ほ場率	平均 発生株率
R4年	10	40%	4%
平年値 (H23-R3)	10	8%	0.2%

- (2) 8月第5半旬現在、フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの誘殺数は、米子市でやや多く、北栄町で平年並である。また、フェロモントラップの誘殺ピークは8月下旬～9月上旬と予想される。

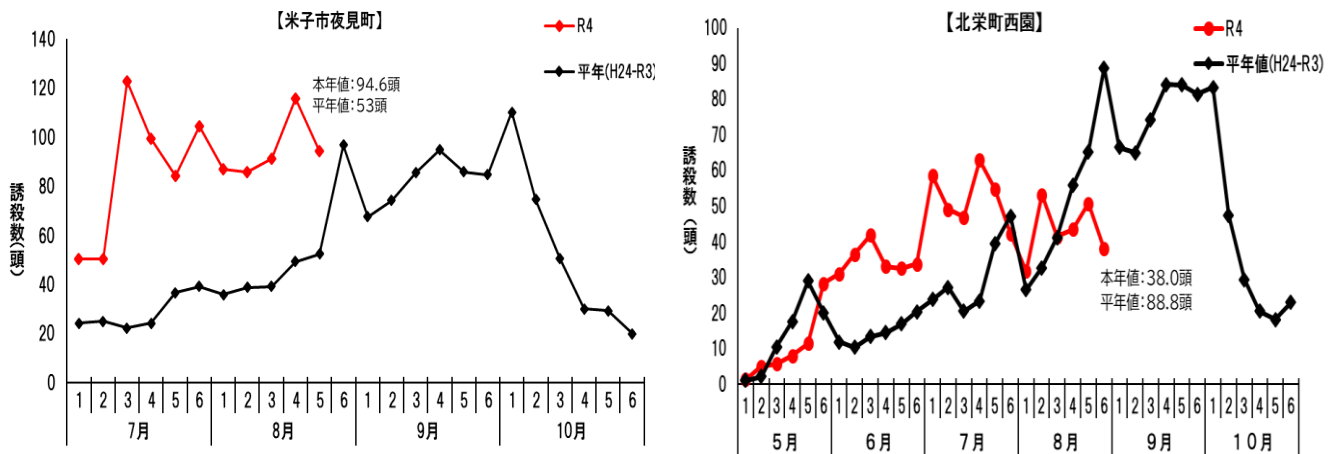


図1 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの誘殺数

- (3) 発生量がやや多いため、今後、次世代の産卵数および食害被害の増加が懸念される。

2 防除上注意すべき事項

(1) 野 菜

ア 薬剤の感受性が高い若齢幼虫期（体長 1 cm 以下）に防除を行う。食害痕が見られ始める頃が防除適期である。

イ 食害痕は不整形の白斑となり、更にかすり状に透けて見える。はじめ卵塊から孵化した幼虫は集団で産卵場所やその周辺にとどまり、葉の表皮を残して葉肉部を食害する。ほ場内を観察し、食害痕の目立つ株に注意する。

ウ 食害痕および若齢幼虫の発生が見られた場合には、病害虫防除指針等を参照し、薬剤防除を行う。



出典：菜園の害虫と被害写真集

図1 シロイチモジヨトウ成虫



出典：菜園の害虫と被害写真集

図2 シロイチモジヨトウ幼虫（老齢）



出典：菜園の害虫と被害写真集

図3 シロイチモジヨトウ卵塊（左）と若齢幼虫（右）